

会報



シルバー旭川

(題字/石崎閑雲)

発行所：公益社団法人 旭川市シルバー人材センター

〒070-0902 旭川市春光町3639番4 TEL (0166)51-1600 FAX (0166)55-2537 <http://www.asahikawa-silver.jp>

謹賀新年

2019年



早朝の神楽岡公園 (Photo by T.Okabe)

全国シルバー人材センター統一スローガン

事故防止、

急ぐな、あせるな、気を抜くな

会員数(人)の動き

	男	女	合計
平成29年3月	623	299	922
平成30年3月	595	294	889
平成30年10月	616	296	912

年頭ご挨拶



理事長
中島 哲夫

平成31年の新春をご家族の皆様とともに
にお健やかに迎えることと、お喜び申し
上げます。

昨年は会員皆様のご指導・ご支援ならび
にご協力を賜り、事業実績も例年の水準を
確保することができ、心からお礼申し上げ
ます。また、安全面ではいくつかの物損加
害事故はありましたが、人身にかかわる重
篤事故は一切なく、会員皆様のご努力の成
果と感謝申し上げます。

本年も「安全は全てに優先する」ことを
心に刻み、センター一丸となって邁進して
いこうではありませんか。

さて、人生100年の時代が到来しよう
としております。

我が国日本において、100歳以上の人口
は現在7万人であります。最後の団塊
の世代（昭和24年生）が100歳となる
2050年には、53万人と推計されてお
ります。

今まで人生80年が20年も伸び、社会
保障の面でも人生の生き方にも大きな課題
が生じて来るでしょう。

もう「老後の生活」ではなく、まさに
「生涯現役社会」を迎えることになるでし
ょう。我がシルバー人材センターにも数
多い影響が出てくることが予想されます。

そのためにも一人でも多くの会員を増や
し、幾多の局面に対応できる旭川市シルバ
ー人材センターにするため、会員皆様のご
支援、ご指導を切に
お願い申し上げます。



平成31年度

公益社団法人旭川シルバー人材センター

定時総会のご案内

【日時】平成31年5月30日（木）午後2時

【場所】旭川トーヨーホテル

（旭川市7条通7丁目）

◎総会終了後親睦会（会費制）を予定していま
す。多数のご出席をお願いします。

◎詳細は後日ご案内いたします。

今年も何とぞよろしく
お願いいたします。

他 事務局職員一同

佐々木敏文

常務理事兼事務局長

監事 鎌田 孝雄

監事 坪沼 一成

理事 山内 悦子

理事 高松 勝一

理事 岡部 正

理事 片山 房江

理事 石川 玲子

理事 谷 裕己

理事 佐藤 徹

理事 安部 文子

理事 吉田 健二

副理事長 木林 啓爾

理事長 中島 哲夫

謹賀新年

パソコン講座



面白く、楽しいパソコン教室

石直 圭治

パソコンは趣味でやっています。高齢の今では、なるべく現代に置き去りにされたくない思いが強いのですが、興味があることがたくさんあるので、結果的には趣味となっています。

教室では、Word と Excel の学習で、初歩的なことから高度の応用的な内容まで、バラエティーに富んでいます。



いつもすんなりいくわけではなく、難しい内容の時は四苦八苦することもあります。そのような時には、遠慮なく先生に

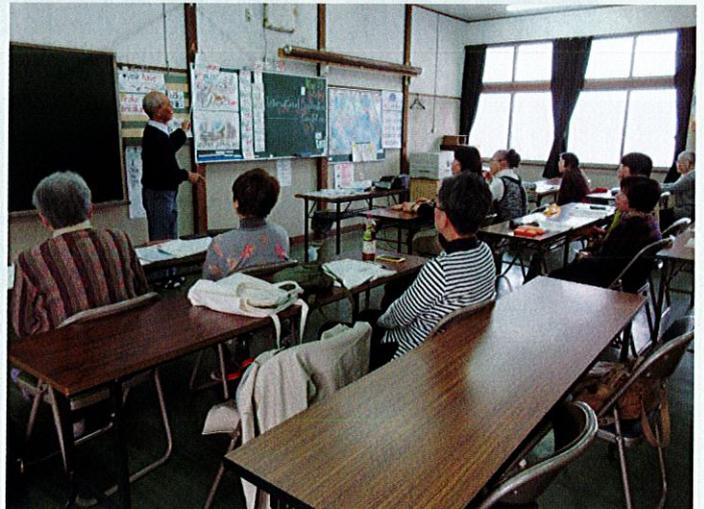
質問すれば、手取り足取り懇切丁寧に教えていただきます。そのような時に完成すると、やはり達成感があり、楽しくなり、高齢であることも忘れてしまいます。

「生き生き英語教室」

合田 文子

私が「生き生き英語教室」を知ったのは、会報を見てでした。来てみますと皆和気あいあいとても楽しい雰囲気、毎週金曜日が待ちどおしいです。

英語講座



ここに来ている人は、・英語が得意、・英語が話せるようになりたい人、・子どもが国際結婚し話すことが必要になった人、・海外旅行をしたい人、・人と交わりたい人など、様々です。もう10年近く来ている方も何人かいます。

小川先生は、元教員で外国生活もされ、生徒たちの人望も厚い方です。学習内容は、「読む書く」ではなく、最近英語教育の主流になってきた「聞く話す」を早くから実行、指導されてきました。本当に「生きた英語」が学べます。この特色は、宿題なし、個人指名なし、解りやすい、笑いがいっぱいです。

授業は、最近の世界情勢、地理的なことに関して、英語でのクイズで始まります。それで、新聞をよく読むようにもなりました。

私は、先生より年上の高齢者で「年寄りの冷や水」と言われそうですが、何かを学びたいと思う気持ちは若いときと変わりません。



小川先生には、いつまでも健康で授業を続けていただきたいと願っています。

30年度 各地区のボランティア（7月以降）

平成30年度 交通安全旗波運動

東光・北西・神楽地区合同

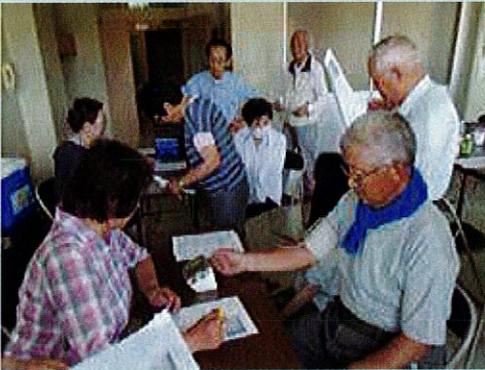
神居地区ボランティア活動



平成30年9月26日（水）午前11時より、例年行われている『交通安全旗波運動』を行いました。旭川警察署や交通安全協会のご協力を得て、各地区より141名の参加がありました。街頭に立ち黄色い交通安全の小旗を振りながら、運転中のドライバーに交通安全を訴えました。また、この運動に合わせて、東光地区・北星地区・神楽地区のボランティア活動も行われました。

平成11年11月15日（木）神居4条1丁目の旭川日産自動車（株）の前で、交通安全旗波運動を行いました。寒い中、地区の多くの会員の方の参加があり、往来する自動車の運転手に安全運転を呼びかけました。

30年度 各地区の研修活動(7月以降)



①高齢者の健康管理 ②研修交流会
講師：神居・江丹別地区包括センター
所長 加藤奈緒子 氏

神居・忠和地区七月二十六日【木】
神居住民センター



◎高齢者の交通安全について
講師：旭川中央警察署 交通第一課
警部補 沓澤竜也 氏

北星地区（十月五日【金】）
シルバー人材センター
2階会議室



◎血管の話
講師：旭川市立病院病院事業管理者
胸部外科 青木秀俊 氏

末広・春光地区（十月十八日【木】）
末広地区センター



◎安心見守り事業の紹介
講師：社会福祉法人旭川社会福祉協議会
地域福祉課長補佐 旭美樹生 氏

東光地区（十一月二五日【金】）
東光公民館

会員の声 (亥年生まれの方々です)

お客様と仕事

中央地区 4班 奥山 弘志

シルバー人材センターに入会して、11年になります。

シルバー人材センターから仕事の依頼を受け、お客様に作業内容を確認し、作業内容が難しい場合もありますので、自宅を訪問し、説明の上、了解をいただくように心がけています。

作業工程を考える時間が必要な時もあり、どのように作業を進めたら、お客様の満足のいく内容に仕上がるかを常に考えながら作業をしています。作業終了後、お客様に確認していただき、『良いです。ありがとう。』の一言と喜ぶ笑顔を見ますと、ほっとします。安全第一で作業し、体力の続く限り働き、心を込めて丁寧な仕事をしたいと思います。

健康で働く喜び

神居地区 44班 広田 勝美

今、二人に一人が癌になると言われていますが、私も4年前67歳でそのうちの一人になりました。毎年一回妻とがんセンターで検査をしていたので、早期発見。術後4年になりますが、今のところ異常はありません。体力も元に戻って、毎日暇していた時にシルバー人材センターのチラシを見て登録しました。私に技能は何もありません。45年間営業一筋でした。世の中には色々な仕事の依頼があるのですね。

シルバーより自分のできる仕事を紹介していただき、夏は公園の巡視清掃、一般家庭の除草、冬は除雪、車庫の雪下ろし等。夏の暑い日の外での作業は疲れますが、作業が終わった後の依頼者から「ありがとう。助かりました」と感謝され、その時が一番の喜びです。あと何年働けるか。今は健康で働けることで感謝です。

チームワークと伝統

中央地区 3班 菅原 健二郎

シルバーに入会させていただこうと事務所を訪ね、温かく迎えていただき、速いもので5年。班の仕事でお世話になっています。

主な業務は、除草、草刈り、冬囲いですが、初めて刈り払い機を使用することに不安に思っていると、先輩から「刈り払い機の作業では、作業時の体勢と足の運び方」が重要との指導を受け、意識して作業を行っていました。ある日、先輩から「草刈作業が楽になっただろう」と言われ、先輩に認められると同時にこれで班の一員となれるとうれしく思いました。

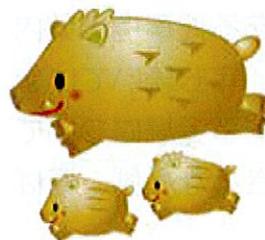
また、この作業は「シルバーのやる仕事」なのかと話題になることがあります。確かに危険で体力的にもきつい

仕事と思っていたのですが、作業終了後には達成感と満足感が得られ、お互い「ご苦労さん」の一言で仕事に対する意欲がわいてきます。

先輩方の経験談と仕事を通して一人ひとりの気持ちが一いつになりチームワークと班の伝統が築き上げられていると確認しています。

亥年生まれの年男として、今までは「猪突猛進」の性格でしたが、シルバーで仕事をさせていただき、働くよろこび、仲間との絆を通しておだやかな性格に変わったような気がします。

これからもチームワークと伝統を大切にシルバーのお世話になります。



奉仕と健康

忠和地区47班 高橋 俊夫

私の奉仕活動は昭和35年から始まりしました。視覚障がい者のための点訳、ボーイスカウト、環境衛生、青少年育成、神社委員などをやってきました。13年前から社会福祉とシルバーをやっています。仕事を終えた後のお客様の「ありがとう」の声に一番励まされ、この人たちのためになるよい仕事を続けるには自分の身体を大事にしなければと思いました。

ラジオ体操は20年程毎朝やっていますが、7年前から男の体操教室と筋肉ちょきんクラブに通ってます。

シルバーのお蔭で仲間とのふれあいもできましたので、私の身体も健康です。平成28年にはラジオ体操とシルバーの表彰をいただきました。

お客様が喜ばれるように苦情のない、きれいな仕事を続けていこうと思っています。

働く喜び

忠和地区46班 小島 敏雄

シルバー人材センターに入会して早17年。仕事は筆耕で年末近くなると毎日葉書を前に、緊張の連続でした。

平成10年長く続いた会社勤めも63才で退職し、幸い元気な身体。何か社会のお役に立つことをと考えておりました。退職前から町内会役員としてその運営にお手伝いさせていただいておりましたが、平成13年町内の方の紹介でシルバーへの入会をさせて頂きました。

筆耕という趣味を活かすことでこれからの目標を見つけることができたようで、仕事がとてもうれしく楽しい思いでした。

平成16年からは、市内のある催事場の案内看板筆耕の仕事で、今年で14年も続いています。多くの方々に参加される催事会場について皆さんにお役に立つことができるならば、嬉しいことと思っています。

自分の努力によって米寿までも元気に働くこ

とができて、それが周囲の人の為になるなら、最高の人生と考えております。

私の感謝状

新旭川地区19班 大島 清次

平成8年にシルバー人材センターに入会いたしました。その後会員として20数年お仕事をいただきました。誠にありがたく思っておりますとともに、理事長様はじめ事務員の方々のご指導をいただきまして、今現在があります。心から感謝申し上げます。

平成28年には表彰状と記念品を贈呈されました。本当にうれしく思っております。

私は、昭和10年生まれで、来年は亥年男です。

これからも、年齢にこだわらず健康であればお客様に対しても信頼されるよい仕事をして頑張る所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。以上、私の献筆といたします。

幾つになっても

忠和地区46班 森下 操

幾つになっても、社会に有能な人間でありたいと願うのは、人間の本質的な願望ではないかと思えます。

永年勤めた会社を退職し、第二の仕事にチャレンジしたのは、15年も前のこと。その仕事も終え、旭川に戻っての年金生活。

夫婦が慎ましく暮らすには事足りています。ただ、贅沢な悩みかも知れませんが、年金には自分働いている、汗をかいて頑張っているという満足感は得られません。

今年7月にシルバー人材センターに登録。ここで得られる喜びは収入以上のものがありました。多くの仲間たちとの交わりが働く喜びを増し、汗をかいて一緒に働いているという実感が何事にも勝ります。自分が働く能力を持ち、働くことが社会につながっているという自覚となり、生きる誇りを支えるものとなっていると思えます。

趣味の中の自分史

末広地区31班 佐々木 今朝男

子どもの頃、家は貧乏でしたが、父親の趣味は魚釣りで、高価な片軸リールを大小数台持っていました。父親について自分も釣りについて行きました。釣針糸は自分で結んで作りました。空知川や、沼・沢で鯉や山女魚などを釣って遊びました。

担任の北村先生は写真クラブの顧問なのでクラブに入りました。カメラは二眼レフとジャバラ機で、フィルムはブローニーで6×6の12



枚撮りです。部活の時、先生がこれからは写真製版の時代が盛んになると言う話されました。

芦別には、写真製版設備がないので、卒業後旭川の中央オフセット印刷に就職しました。趣味が職業に、釣りは冬囲いに活かされていると思います。

ある体操に出会って

北星地区21班 福多 悦子

20数年前に腰を痛めた友人から体操を勧められ、治したい一心でサークルに入会しました。週1回2時間の実技で当時80歳代の方もされているということで気合いが入りましたが、体が硬く足は開かず手は回らず、かなり難儀しました。飽き性の私ですが、こんなに続けてこれたのは、理にかなった動作と深い呼吸法を学び、その後も肩や膝を痛めましたが、改善され、今は元気でお仕事をさせて頂いております。

人生上り坂、下り坂。まさか（真逆）のときがあるといわれますが、残り少ない人生を楽しく健康で過ごしたいと思えます。



与生(余生)を活かす

新旭川地区18班 南 浩

人生80年、100年という学者もいる。しかし、人生は獲得したものではなく与えられたものである。(余りの人生ではない)

若い人の可能性を、磨けば光る原石と呼ぶ。対照的に、センターには「いぶし銀」という文字では表現できない各分野の光り輝く達人たちが大勢いる。シルバー人材センターは、いぶし銀の宝庫である。センターにお世話になって10年。センターは人材という財(たから)の山である。いぶし銀人材宝庫に名称変更?

今年も、そこで与生を活かすことができると願う。

生まれ育った実家の解体

永山地区39班 谷口 則子

母、祖母、父が亡くなり、そのままになっていた家を1年をめぐりに、弟・妹たちと話し合い解体することにしました。68年間住んでいた家の中の物を「いる物」「いない物」に分別し、いない物は廃棄処分処理場に借りた軽トラック2台で運び、計量し料金を支払うという作業を繰り返しました。物置や屋根裏から出てくる、明治・大正・昭和1ケタ生まれの物のない時代を過ごした父母、祖母たちは物を捨てるという考えはなかったのだと思います。

4人のランドセル、手提げ鞆、スキー一式、教科書、使ったノート、通信簿、学芸会で着た衣装などが、茶箱、リンゴ箱、トランク、ダンボールにどっさり入れてありました。

いよいよ重機が来る日になり、地元にいる妹が見届けてくれました。泣けて泣けて仕方なかったと4人分の涙を流してくれたのだと思います。

今も更地のままで雑草が生えてさびしい一角になっています。自分も終活をする年になっていますが、あの片付けの大変さを経験したはずなのに、できずに今にいたっています。

六度目の亥年

中央地区5班 安達 智行

シルバー人材センターのご配慮で、市内の某店舗に勤務させていただき、お陰様で4年目に入りました。亥年は数えてみると6度目を迎えることとなります。

職場の人たちのご配慮もあって働けることに妻と共に感謝しております。

私の仕事は、店内のお客様の使用済みのショッピングカートなどを回数整理することを中心にした業務で、時間中はまさにエンドレスの状態です。

仕事中は、(本当に僣越ながら)お客様には店の顔として、信頼をいただけるよう行動しているつもりです。とにかく私がかかわる時間帯は、気持ちよく過ごしたいと思っておりますが、家族の目で見ると「それは外の顔でしょ!」と、多分に言われるように、外と内に顔を使い分けながら生きているのが本当のところなのでしょう。そんな私ですが、お客様には、「おはようございます。いらっしやいませ。すみません。ありがとうございます」などと声かけをしながら、周囲の働きに注意して店内を歩き回っております。お客様には、こちらの声掛けに①返していただける人、②困った顔をする人、③無視をする人と様々です。挨拶を返していただくと、良い時間を共有できたようで、充実した気分になります。私自身に置き換えてみると②かな?と反省しているところです。

また、最近、カートを杖代わりにや身体を預けた姿で買い物をなさるお客様の姿が増えてきた気がします。

何とかゴール近くまでは夫婦元気でいたいと思ひ、合唱団に所属して声を出したり、ボランティアサークルを仲間と立ち上げて市の「健康な人づくり・まちづくり」施策に呼応した活動もしています。シルバー人材センター、そして仲間の皆さん、今後ともよろしくお願ひいたします。

定年退職後の今

中央地区1班 馬場 禮子

数年前定年退職し、しばらくは今までできなかったことをしながら楽しい日々を過ごしていました。間もなく退屈で物足りなくなり、友人の勧めでシルバー人材にお世話になり5年になります。

就業時間が短く、日数も少ないため、自分の時間も十分にあり、以前から気になっていた「断捨離」を行いました。食器、家具、衣類、長年使用していたものばかりで、迷いもありましたが、最低限度のものを残して全て捨てました。しばらくは淋しくて不便でしたが、今まではスッキリした気持ちです。

働かせていただきながら、自分のことも十分にできる時間があることに感謝し幸せを感じております。

充実の日々

東旭川地区15班 廣瀬 正昭

私は、会社勤めの傍ら、サークル仲間とテニス、絵画など楽しんでいました。どちらも老後を考えて始めたもので、テニスは55歳から絵画は64歳から楽しんでます。

ところが、会社を辞めた後は、あんなに楽しんでいたテニスも絵画も、何となく「チカラ」が入らなくなってきました。本を読むのも億劫になり、このままでは「マズイ」と思ひ、仕事を探し始めました。

そんな折、テニス仲間の田中さんが紹介してくれたのが、シルバー人材センターでした。お陰様でトレーニングセンターに、管理業務の一員として勤務しております。

良き仲間と知り合い、現役時代とは一味違う喜びを感じながら、充実した日々を送っています。感謝の毎日です。ありがとうございます。

働ける楽しみと良き仲間

永山地区50班 角井 勇

今、仕事が楽しい。昔(若い時)はそうではなかった。義務感や必要性に迫られての仕事だったように思う。古希を過ぎ健康で元気に仕事ができることは、それ自体が喜びである。そして、何より、信頼できる仲間との連帯した作業過程が楽しい。

今夏、草刈中に土蜂に襲われ首に一撃を受けた。痛さに加え、吐き気、寒気、全身の痒み、意識薄れを感じ倒れ込んだ。

その時、仲間が時をおかず救急車の手配してくれた。遠くなっていく意識の中で、自分の一生もここで終わると思った。医大の救命救急センターに搬送された時は、医師から「間一髪だった」と、仲間の適切な判断が賞賛された。

喉もと過ぎればではないが、

今も会う度に憎ま

れ口をきいている。でも、命の恩人である。こ

んな気が置けない良き仲間

に助けられながらの仕事が楽しくて仕方がない。但し、常にエピペン(蜂毒によるアナフィラキシーショック時に自分で応急処置する注射剤)を携帯し、蜂に怯えながらである。



仕事のありがたみを覚えて

北星地区24班 工藤 美枝子

私は、主人の仕事の都合で旭川に来てもう40年近くなります。来る前は、帯広に住んでいました。10月に来て、1ヶ月もしたら雪がどんどん降ってきて、びっくりしました。旭川の右も左も分からず、慣れるまで5年もかかりやっと旭川のことを知りました。始めに仕事をしたのは朝早く牛乳配達をして、近所を知るには好都合でした。そのときにお客さんともお友達になり、いまだに付き合っています。

それからいろいろな仕事をしました。家族に合わせたパートなので。景気が悪くなるとパートをやめさせられました。仕事は自分にできそうな仕事は何でもしました。何とか子どもたちも大きくなって、友達とも旅行にも行けるようになり、楽しみ乍ら仕事をするようになり、人生で余裕ができてきました。

歳をとってきて55歳になってから、シルバー人材さんにお世話になって早16年にもなります。今は、体のために少しですがやらせていただき感謝しております。

考えてみますと、今までいろいろな仕事をして、楽しいこと、勉強になったり、もういつ返できるか分かりませんが、今まで仕事をして皆さんに助けられ、私人生プラスが多かったように思うばかりです。ありがとうございました。

一ヶ月に一回の食事会

忠和地区47班 椎名 恵子

旭川市のパン工場に勤めて27年。退職して、友達の紹介で、シルバー人材センターの会員になって5年がたちました。

ホテルの皿洗い、その他いろいろとお世話になり、現在の仕事は、初めての外仕事で雨の日も雪の日もあり、大変ですが、メンバーの人たちの助けもあり頑張っています。

休みの日、一ヶ月一回、友達と食事会で、今日はどの店にしようか、何を食べるか色々と話し、会話も弾み時間のたつのも忘れて、楽しい一日になります。

これからも健康で仕事、食事会と続けていきたいと思っています。

来年は、私の年です。良いことがありますように。



昔を振り返って

中央地区4班 木村 信一

テレビで開道150年とっている。それであれば、私は約半分近く生きてきたことになる。

振り返れば、現在とだいぶ違う世の中を過ごしてきたように思う。私だけかもしれませんが、私はわらびき屋根に土壁、風呂・トイレは、近所の家もそうでしたが外の小屋にあった。風呂は五右衛門風呂だった。お米や食器は家の前の小川に升を埋めて、そこで洗っていた。服等は、たらいに水を入れて、固形石鹸で洗っていた。冬はとても冷たい思いをした。学校にも靴下をはかないで来ていた人も数人はいた。服やズボンはお下がりで継ぎ接ぎだらけ。冬の上着もお下りのアノラックや、普通の雨ガッパ。それでも無いよりは、よかった。

学校は遠くても自転車もなく、ほとんどの人は歩いてきた。学校から帰るとすぐ畔草を刈り、馬や羊の小屋に背負っていく。雨降りはとても嫌だった。鶏やブタの餌は、すぐ上の姉が芋やカボチャ等を煮て与えていた。でも食事等を作るため、すぐに家に上がっていたので、動物の寝わらや、鶏小屋掃除や馬羊に水を飲ませたりしたら6時にも7時にもなる。

でも、親や上の兄姉を見ているので苦にもならなかった。貧乏農家の9人兄姉の8番目に生まれ、親とは話したことがない。すべて兄姉の言いつけに従うのみで、話をするのもすぐ上の姉二人ぐらいだった。親や兄二人は10月末から5月頃まで、冬山に出かけ帰って来なかった。上の姉は東神楽の街へ編み物や呉服仕立ての習い物に行ったり、店員になったりで、上の姉たちもほとんどいなかった。だから、9人兄姉といっても年が離れていたもので、4人姉妹と同じようなもので、9人兄姉のイメージが少しも無い。

寝起きをともにしたとか、食事をいっしょにした記憶も無い。いつも朝早くから夜遅くまで働く生活の中で生きてきたので、人間として生まれてきた以上、生きている間は、健康に気

を遣って少しでも長く働きたい。

今時の子どもたちは親と友達のように話をしたり、遊んだり、外食をしたりしている様子をよく見かける。テレビのコマーシャルも私には理解しかねることが多い。先々この状態で大丈夫かと思う。違う世界にいる気持ちだ。

シルバーとボランティア

永山地区49班 津島 勝男

シルバー人材センターの会員になって4年。夏の除草作業・冬の除雪作業と適度な就業時間で終業後にお客様の満足した笑顔を見ると私も充実感が得られます。

現在、ボランティア活動で民生委員を5年務めており、私が仕事に赴く依頼者の多くは、私と同年代以上の高齢者が多く、行政等の様々な高齢者支援情報にも疎い場合が多くあります。その時には、情報を提供したり、お客様の地区担当民生委員に支援要請の



連絡をすることもあります。

今後もしばらくは、自分と他人のためにシルバーのお世話になろうと思っています。

禁煙成功

東旭川地区 15班 小嶋 繁則

50年間吸い続けたタバコ。今年の6月末禁煙成功。禁煙を目指している方への参考になればと思いました。

健康と金銭を考えて挑戦しました。禁煙方法は、今年の1月からニコチンを含まない「電子たばこ」と、従来の「紙巻たばこ」を併用し、順次「紙巻たばこ」の本数を減らし、「電子たばこ」を吸うようにしました。

その間、たばこを吸っている夢を見たり、食後の一服を吸いたい衝動など、ストレスがありましたが、何とか半年がかりで成功しました。

冬囲い講習会



平成30年10月10日(水)、東旭川徳巖寺境内において「安全就業冬囲い講習会」が行われました。会員31名が安全就業基準や保護具の有効利用、ロープ・縄・紐の結び方、安全点検などを学びました。

これは絶対ダメ!!

- お客様の氏名
- お客様の連絡先
- お客様の家族構成
- お客様の年齢
- その他 お客様の情報



これらのことを第三者に教えては、『絶対にダメ!!』です。

最近、上記のような個人に関わる情報の取り扱いが厳しくなっています。従来の慣習で何気なく、お友達などにお客様の名前・住所・年齢・電話番号など、伝えてしまう方がいます。そして、そのことが原因の社会的な問題を生じていることも実際にあります。実際に損害賠償請求訴訟なども起こっております。お客様の個人情報は、絶対に第三者へ伝えることはしないように。

シルバー派遣事業とは

シルバー派遣事業は、北海道シルバー人材センター連合会が派遣法上の主体となって行うもので、下記の点が従来の請負・委託とは異なります

項目	受託(請負・委託)事業	シルバー派遣事業
就業の仕方	時間に拘束されことなく自分のペースで就業する	決められた日数・時間等で定期的に就業する
期間・内容	臨時的・短期的な従業(概ね月10日程度以内) 又は軽易な作業(週20時間未満)	臨時的・短期的な従業(概ね月10日程度以内) 又は軽易な作業(週20時間未満)
雇用関係の有無	なし	あり(労働契約は公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会と締結)
発注者の指揮命令	受けない	受ける
事故時に適用される保険	シルバー保険	労働者災害補償保険(労災保険)
発注者との契約当事者	公益社団法人旭川シルバー人材センター	公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会
社会保険・雇用保険の適用	なし	なし
会員に対する報酬	配分金(雑所得)	賃金(給与所得)

会員を募集しています!!

- ・あなたのお近くにいませんか？
- ・あなたの声かけが大切！！
- ・女性会員大募集！！



＝声かけのポイント＝
 ☆健康や生きがいづくりに最適ですよ！
 ☆楽しみながら仕事ができますよ！
 ☆あなたの経験や技術が生かれますよ！

お近くに60才以上のお友達・お知り合いの方がいらっしゃいましたら、是非センターにご連絡ください。

平成31年度の配分金支払日

配分金支払日は、就業月の翌月25日です。但し、25日が休業日の場合は翌営業日となります。

年	就業月	支払日	配分明細表発送日
30年 (2018)	12月分	1月25日(金)	2月25日(月) 発送予定
	1月分	2月25日(月)	
31年 (2019)	2月分	3月25日(月)	4月25日(木)
	3月分	4月25日(木)	発送予定
	4月分	5月27日(月)	6月25日(火)
	5月分	6月25日(火)	発送予定
	6月分	7月25日(木)	8月26日(月)
	7月分	8月26日(月)	発送予定
	8月分	9月25日(水)	10月25日(金)
	9月分	10月25日(金)	発送予定
	10月分	11月25日(月)	12月25日(水)
	11月分	12月25日(水)	発送予定
32年 (2020)	12月分	1月27日(月)	2月25日(火)
	1月分	2月25日(火)	発送予定
	2月分	3月25日(水)	4月27日(月)
	3月分	4月27日(月)	発送予定

配分金に関わる確定申告について

シルバー人材センターで得た「配分金」は、所得税法では「雑所得」として取り扱われます。その上で、課税対象者となると思われる会員の方は、各自において最寄りの税務署等に申告が必要となります。

その際に、必要な平成30年度分「配分金支払い証明書」を事務所で発行しますので、希望の方は、ご連絡ください。

なお、「配分金」については、特別控除が認められています。また、計算方法は年金額や年齢などの各自の状況によって異なりますので、関係方面にお問い合わせください。



安全就業の推進

平成30年度 傷害・賠償事故について

1. 冬囲い事故

コノテヒバ（コニファー）6本の冬囲いを行ったが、その際依頼主の意図にそぐわず剪定した。そのためヒバが枯れる事故があった。

2. 草刈事故（8件）

①ネット等防御策をしなかったため、駐車中、あるいは走行中の車のガラスを破損した。（2件）

②ネット等で防御策をしたが、飛び石等で車のガラスや住宅のガラスを破損した。

（5件）

③草刈作業中、庭木や草花等を刈り込んでしまった。

3. 家具等の破損

トイレの掃除をしたとき、自動トイレの便座を無理矢理開け、便座の付け根を破損した。

4. ハチによる被害

草刈作業中、スズメバチに刺され、発汗・吐き気等のアナフィラキシーショックの症状が出て、緊急入院した。翌々に回復退院。2名（複数）の作業が幸いした。



もしもの時は！！

◎もしも、就業中にけがをしてしまったら。

各自の健康保険で治療を受けてください。なお、けがの状態、けがをした様子を事務局に連絡ください。

◎もしも、就業中に物を壊してしまったら。

速やかに事務局まで連絡ください。

☆会員就業については、**雇用関係がないため労災保険等の適用がありません。**万一就業中に事故が起きたときに何らかの補償をするため、シルバー保険に入っております。

☆会員が就業中に身体に傷害を受けた場合には、「**傷害保険**」と、就業中に他人の身体・財産に損害を与えた場合に適用する「**賠償責任保険**」に加入しています。

※ 一部保険の適用にならない場合があります。（事務局にお問い合わせください。）

一人ひとりが責任ある行動を！

直接仕事は受け付けない！！

◎就業はセンターの規定に沿って

時々、会員が個人で依頼者と交渉し作業を請け負っているという噂が流れてきます。

会員の一人ひとりが、組織の一員となって運営しているのが「シルバー人材センター」です。「このくらいなら許されるだろう」「自分一人くらいなら、大丈夫だろう」などという安易な行動が、会員や事務局に迷惑をかけることとなります。

しっかり心に留めておいてください。

雪道には気をつけて
急ブレーキ、急ハンドルは
絶対にダメ!!



旭川シルバー人材センター 賛助会員

今年もよろしくお願い申し上げます

会 社 名	会 社 名
1 (株)北海道銀行旭川支店	13 有光農機旭川販売(株)
2 旭川ガス(株)	14 (有)かとう印刷
3 旭川計量器(株)	15 旭川トヨタ自動車(株)
4 旭川信用金庫北星支店	16 旭川トヨペット(株)
5 日本ハム北海道ファクトリー(株)	17 (株)道北アークス
6 旭川信用金庫	18 (有)仏壇駒形屋
7 新谷建設(株)	19 旭陽電機(株)
8 旭印旭川中央青果(株)	20 (株)北海道フェンス工業旭川
9 北海道護国神社	21 山室繊維(株)
10 (株)あいわプリント	22 (株)トヨタレンタリース旭川
11 (株)アサミツ商販	23 (株)只石組
12 (有)三省堂印刷工業社	

平成30年12月現在 (順不同 敬称略)

就業相談日のご案内

「就業に関する相談日」を開設しております。

就業に関する相談のある方は、お気軽にお申し込みいただき、センターまでお越しください。時間等の調整のため事前にお電話をお願いいたします。

- ◎ 日時：毎月の第3木曜日 10:00～14:00
- ◎ 場所：センター事務局



緊急時の連絡

緊急とは

当センターが休業時（土曜・日曜・祝祭日・年末年始・平日17時以降）就業中に事故や、お客様にご迷惑をおかけした場合は、必ず下記に連絡してください。

- ※ 緊急時以外のお電話はご遠慮ください
- ※ 就業する際には、会員証・緊急連絡先を記し、メモ等を持ち歩きましょう。

◎緊急連絡先

事務局長 070-5603-6494
チーフ 070-5603-5320

【編集後記】

今月号は、「亥年」の方々からの原稿が、たくさんあり、うれしい悲鳴を上げながらの編集でした。お陰様で、ページ数も増え、読み応えのある号となりました。ありがとうございました。来年は「亥年」。正式には「己亥」（つちのとい）です。「己亥」は60年ごとに回ってきます。今上天皇が美智子妃とご結婚されたのが、60年前の「己亥」。そして来年「己亥」で退位されます。何か感じるものがあります。さて、「己」（つちのと）は「己」（おのれ）、「亥」は「核」に通じるといわれているそうです。「己」の上と下を横に引くと真っ直ぐな一本の線になります。来年は、横に広がりをもって己の核を大切に過ごすことがいいといわれていますよ。

＝編集委員＝

岡部 正（編集委員）
近藤 初美（編集委員）
木林 啓爾（副理事長）
佐々木敏文（事務局）
窪田 理江（チーフ）

